

刊行にあたって

本市では、「世界の環境首都」の実現に向け、「市民環境力の持続的発展」、「低炭素社会づくりの推進」、「循環型社会づくりの推進」、「生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」の4つを、北九州市環境基本計画の柱に掲げ、市民・NPO、事業者の皆様とともに、様々な環境施策に取り組んでいます。

柱の一つ「低炭素社会づくりの推進」に向けては、低炭素・安定・安価なエネルギーを地域に供給することを目指す「地域エネルギー政策の推進」や、「北九州水素タウン」等での実証、水素ステーションの導入、燃料電池自動車の普及促進をはじめとした水素に関する取組などを積極的に展開しています。

なかでも、「北九州スマートコミュニティ創造事業」では、5年間の取組の結果、需要家のエネルギーマネジメント等により、平成17年度の市内標準街区と比較して、八幡東区東田地区のCO₂排出量を約50%削減することができました。また、電力の需給状況に応じて、電気料金を一時的に変動させるダイナミックプライシング等の実施により、約20%のピーク時電力削減効果を確認できました。これらの取組は、世界の優れたスマートグリッドプロジェクトを表彰するISGAN AWARD 2014において、アジアで唯一入賞するなど国際的にも高い評価を得ています。

「市民環境力の持続的発展」に向けては、世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育（ESD）」の普及啓発活動を、北九州ESD協議会を中心に、市民・NPO、企業、大学等と連携して推進するとともに、「北九州エコライフステージ」や「北九州市環境首都検定」の実施などの様々な取組を通じて、市民一人ひとりのエコライフの実践を促進しています。

また、ごみの減量化・再資源化の推進など「循環型社会づくりの推進」を着実に進めるとともに、「響灘ビオトープ」による自然とのふれあいの場の創出や、微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染や水質汚濁の防止など、「生物多様性保全の推進と快適な生活環境の確保」にも、引き続き努めてまいります。

今後も引き続き、これまで市民・NPO、事業者の皆様が育んできた「市民環境力」を発揮しながら、環境の絆で結ばれた豊かな暮らしが実感できるまちを目指してまいります。

なお、小誌は、平成26年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたもので、皆様に広く活用され、本市の環境行政に一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。

平成27年9月 北九州市環境局